

国立医薬品食品衛生研究所 概要

第130回 科学技術部会

資料4-1

令和4年7月14日

《使命》

医薬品・食品・化学物質等の人間への影響について、品質・安全性・有効性を科学的に正しく評価するための試験研究(レギュラトリーサイエンス)の実施。

《沿革》

- 明治 7年 東京司薬場として発足、わが国で最も歴史のある国立試験研究機関
- 昭和21年 世田谷移転、昭和24年に国立衛生試験所に改称
- 平成 9年 国立医薬品食品衛生研究所に改称
- 平成24年 川崎市への移転決定→平成27～28年度 建設工事
- 平成29年 川崎市移転

《基礎データ》

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
定員	198	200	200	201	202
うち研究員	169	171	171	172	173

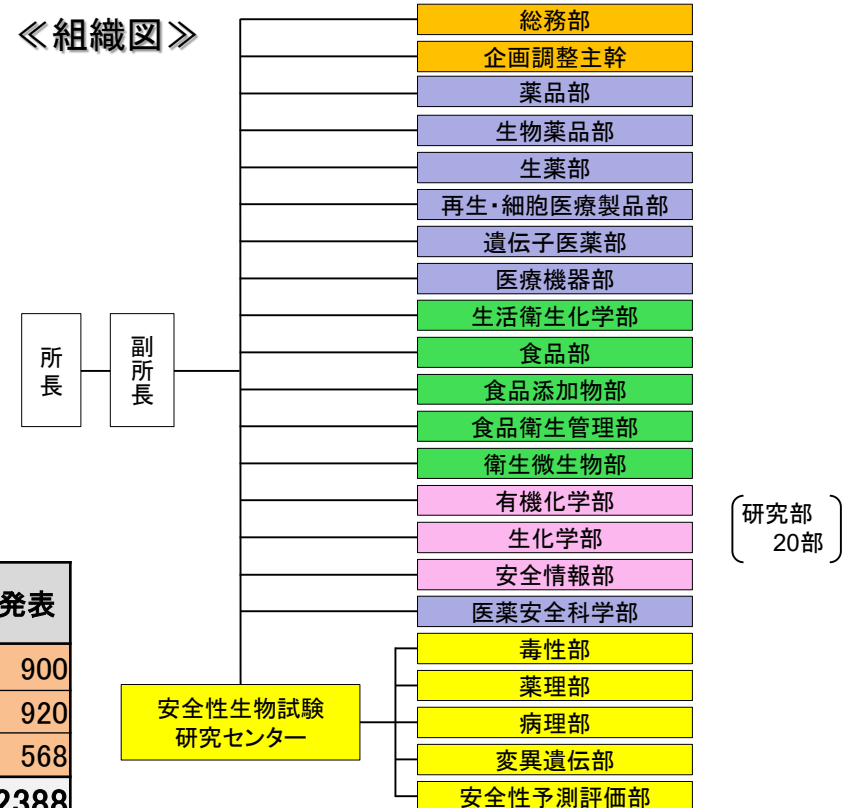
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算額	33億円※2	31億円	51億円※3	42億円※3	33億円※3,4
うち試験研究費等	10億円	10億円	10億円	12億円	11億円

- ※ その他、厚生労働本省からの試験研究費(支出委任)のほか、AMED研究費、厚生労働科学研究費及び文科省科学研究費等の補助金等(競争的資金)あり
- ※2 川崎移転のための経費を含む(平成30:3億円)
- ※3 世田谷庁舎解体経費を含む(R2:19億円→R3:10億円→R4:0.4億円)
- ※4 デジタル庁一括計上分 1.1億円含む

《主な業務》

事務・事業	業務内容
試験・調査研究業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医薬品等の品質・安全性・有効性の評価 ○ 食品中の残留農薬、食品添加物、微生物、放射性物質等の研究 ○ 化粧品、家庭用品、飲料水及び室内空気等の衛生化学的試験・研究 ○ 医薬品、食品、化学物質の安全性に関する国内外の情報収集・解析・発信、データベースの作成、国際機関との協力 ○ 実験動物、細胞等を用い、医薬品、食品・食品添加物、食品用器具・容器包装等の化学物質について、安全性及び有効性を確保するための試験・研究 等
一斉取締試験等業務	○ 医薬品・医療機器、食品、医薬部外品、化粧品について、薬機法等に基づく試験・検査等を実施

《組織図》



《主な研究等の成果》

年度	誌上发表			単行本	行政報告	学会発表
	原著	総説等	計			
平成30年度	232	146	378	51	120	900
令和元年度	223	129	352	47	133	920
令和2年度	256	152	408	50	133	568
合計	711	427	1138	148	386	2388